

ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）
 〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内
 電話：0857(22)0578 FAX：0857(22)0593
 発行者 松井 満洲男
 HP：<http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/>

「第40回人権尊重社会を実現する

鳥取県研究集会」を終えて

鳥取県人権教育推進協議会 会長 松井 満洲男

8月7日（金）とりぎん文化会館梨花ホールを主会場にして、鳥取県東部で開催した「第40回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を盛会裏に終えることができました。今回は、40回という記念すべき節目の大会で、鳥取県の平井知事の講演や記念座談会などを行いました。前回からの一日開催も定着し、県内各地から多数の県民が参加し実践の交流を深められたことと思います。

講演講師・報告者の皆様、そして諸準備から事後の総括・記録までお世話になった役員の皆様、後援団体・関係機関に改めて深甚なる感謝を申し上げます。

なお現在、県人教事務局では「記録集」「記念誌」刊行に向けて順次作業を進めているところです。



～報告～ 第40回人権尊重社会を実現する 鳥取県研究集会 <概要>

<大会参加者数>

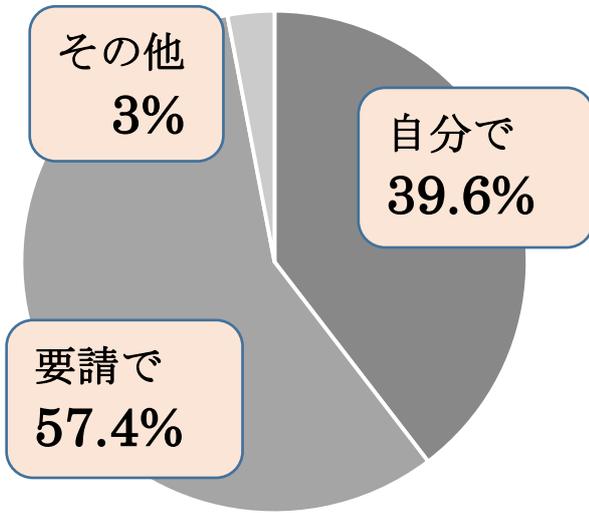
全体会参加者 1,662人 (1,700人) 来賓 16名 役員等 約250名
 分科会参加者 1,428人 (1,702人) ※ () 内は昨年度の参加者。

第1分科会 (人権文化社会の創造)		第2分科会 (就学前・学校教育の創造)		
1-1	1-2	2-1	2-2	2-3
102人	187人	182人	92人	87人
第3分科会 (共生社会の創造)			第4分科会 (学習・入門講座)	記念座談会
3-1	3-2	3-3		
47人	81人	559人	31人	60人

<参加者アンケートより>

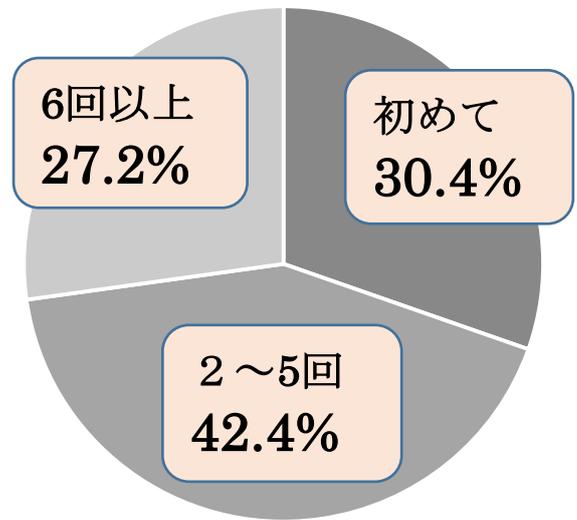
総回答者数は886人（回収率は50.1%）

1 参加について



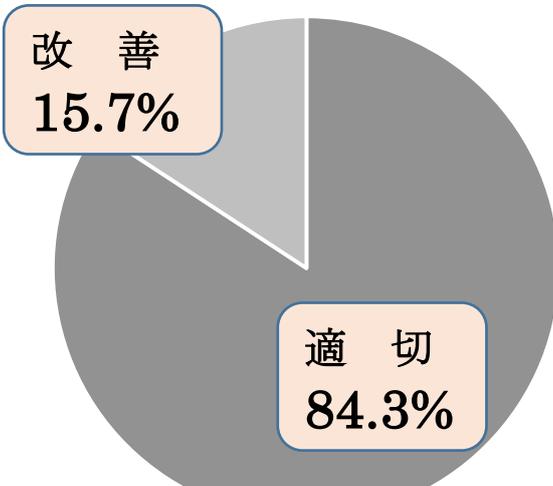
1 参加について、「自分の意思で参加した」は、昨年度も40%で大差はない。

2 参加回数



2 参加回数は、「初めて」「2から5回」「6回以上」が、3対4対3の割合。「初めて」が昨年度の大会より5%増えている。

3 全体会の運営



3 「全体会の運営」については、8割以上が適切だと回答している。初めての1日開催となった昨年度が70%だったことを考えると、まだまだ改善の余地はあるものの、1日開催の全体会の形が定着してきたと考えられる。

<「全体会運営」の改善についての意見から>

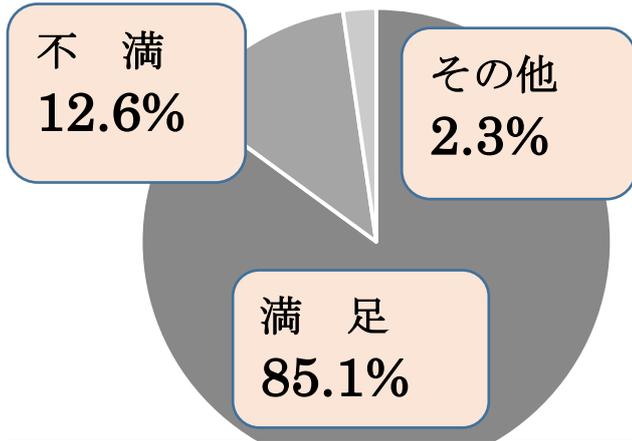
- ▲駐車場のスペースがもっと必要である。
 - ・広い駐車場の確保と満車や次の駐車場の的確な情報を。
- ▲全体的に段取りの悪さが目立った。
 - ・参加人数が多いので、案内係を増やし、受付や弁当渡し、移動等の誘導をスムーズにして。
- ▲会場が暑かった。
 - ・梨花ホールの受付や会場が暑くて大変だった。
 - ・飲み物が売り切れて困った。
- ▲分科会場に行きにくい。
 - ・西部からなので地理が分からない。
 - ・シャトルバスの乗り場が分からない。案内を。
 - ・シャトルバスが片道なので、帰りはタクシーを使った。会場がまとまっているとよい。
- ▲スクリーンの字が小さかった。
 - ・3階席からは、上が切れて見えなかった。

<全体会の感想より>

- ◎平井知事の講演が分かりやすくよかった。県トップの意欲がしっかりと伝わってきた。(大勢の方からすばらしかったと感想がありました。)
- ◎手話劇を通じていろいろ考えさせられた。改めて、全員が様々な人権課題と向き合う必要があるし、大事なことだとわかった。



4 分科会の報告・討議



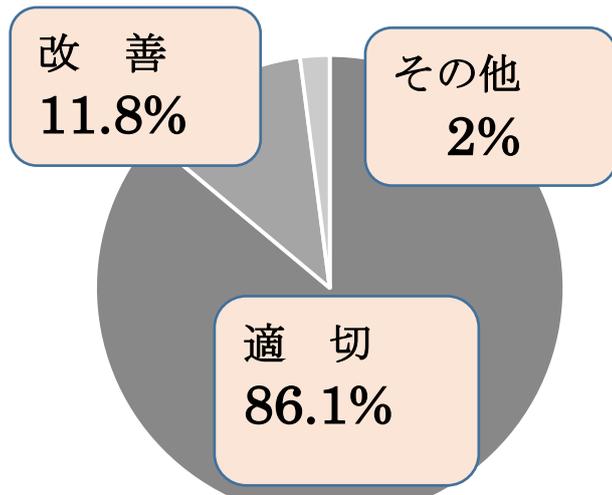
4 分科会の報告・討議内容については、85%が「満足」と回答している。昨年度が81.7%だったことを考えると、明日へつながる充実した実践交流が行われたと感じる。

<「分科会報告・討議内容」の意見から>

- ◎報告はいずれも大変参考になり、勉強になった。満足できるものであった。
- ◎報告者に共通して強く感じることは誇りを持って活動しておられることだ。お話をお聞きし、尊敬の念を覚えた。職場でも伝えたいと思います。
- ◎活発に意見交換ができてよかった。フロアからの意見が学びになった。
- ▲報告内容が「討議の視点」に合っていたか。
 - ・人権とのつながりが明確に示されていない。人権問題解決のための集会であるという大前提を忘れないでほしい。
- ◎継続することの大切さを学んだ気がする。
- ◎取り組みの方向性に新鮮さを感じた。うまくいったかどうかは別として、主体的なかかわりであることに意義を感じた。
- ◎実践報告を参考に一人ひとりの子どもとしっかり向き合っていきたい。がんばろうと思う。



5 分科会の時間・運営



5 「分科会の時間や運営」については、86%以上が適切だと回答している。「改善が必要」は昨年の14.7%から3%減少している。今年の具体的な意見を参考にして改善していきたい。

<「分科会の時間・運営について」の意見から>

- ▲はじめに細かいスケジュールを教えてほしい。
 - ・質疑なのか討議なのか分からないまま、まとめでなってしまった。配分時間を明確に。
- ▲詳しい報告資料を配布してほしい。
 - ・パワーポイントの字が小さいのでスライド等をレジメにしてほしい。
- ▲会場が身体障がい者には使えないため、希望する分科会に行けません。障がい者が自由に参加できる会場での開催をお願いします。
- ◎隣の方と意見交換できる時間があってよかった。
- ◎折角のいい話なのでもっと多くの人に聞いてほしい。



<その他 感想>

○勉強になりました。ありがとうございました。

○遠くから来ているので、1日開催になったのはありがたい。 ⇨ 論議を深めるために2日間がよい。

○1日開催は残念だったが、工夫して中味のあるものにしてください。毎年楽しみにしています。途切れることなく続いていくことを願っています。

○鳥取県で率先して人権尊重へ向けての努力をこれほどまでに行っていることをはじめて知りました。鳥取から県外へと広まる活動もあり、大変誇らしいことだと感じました。

○初めて参加しました。参加人数も含めて、とても大規模な集会だなあと感じました。資料もしっかり読ませていただき、とても勉強になりました。なかなか普段お話を伺う機会のない企業の立場の方たちのご意見やお話を伺うことができました。ありがとうございました。これからもみんなが気持ちよく生活できる社会を築くためにささやかな力になりたいです。

○長年の取り組みで今があるように思います。いろんな人権問題は山積しているし、新たな問題も次々と出てくることだと思います。未来の次の世代のためにもこのような研究集会や取り組みが必要であると強く感じました。

○差別の現実によく学ぶことが、この集会でできます。そういう内容や議論ができるものであり続けなくてはならないと思う。

○大会運営に関わられた皆さんありがとうございました。
大変ご苦勞様でした。



事務局：たくさんのご意見・ご要望をありがとうございました。来年度の集会に生かしたいと思います。

さらなる実践交流の場へ

第8回中国ブロック人権・同和教育研究大会（島根大会）

2015年10月3日（土）13：30～16：00

出雲市隣保館：島根県出雲市上塩冶町2567-1

鳥取県報告者：（株）つむぎ 原田伸吾さん—すべての人の想いをつなぐ会社「つむぎ」—
※県の研究集会の第1分科会第1分散会で報告されました。

「中国ブロック大会」は中国地方5県の県人教がまわり持ちで、年1回開催しています。開催地以外の4県から1本ずつ、4本の報告を受けて討議します。

第67回全国人権・同和教育研究大会（長野大会）

期日：2015年11月21日（土）～22日（日） 全体会場：ホワイトリング（長野市）

テーマ：「信州発！そのあとに続くすべての世代のために」

鳥取県内報告者：用瀬町人権文化学習会 福安和子さん 竹内ゆづるさん

※県の研究集会の第1分科会第2分散会での報告を元に、更に具体的な実践に踏み込んだ内容です。

全人教実践報告協力者：福原潤一さん（西伯小） 尾坂紀生さん（倉吉総合産業高校）

佐藤淳子さん（とっとり震災支援連絡協議会）

※3人は長野大会の分散会で主に司会や総括をされます。

参加券申込は
県人教へ！

10月16日締切！